

事業所名

ハミング ことばとからだところの教室

支援プログラム（重心以外放課後等デイサービス）

作成日

令和8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」を基本とし、障がいのある人々が、働くことを通じて自己の存在感と生きがいを見だし、また人とふれあい関わり合うことによって基本的な生活習慣を身につけ、将来は「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」ということを目標に、一人ひとりに合わせた支援を行うことを目的とします。法人の事業所は、将来の目標に向けて地域の中にたくさんの理解者を作るため、本人や家族・職員・ボランティアの人たちと、共に学び、共に育ち、お互いの理解を深め、明るい未来を築き上げる拠点として設置します。					
支援方針		放課後等デイサービスでは、障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう支援を行っていきます。利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。					
営業時間		8	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き心に起きる葛藤が大きくなり、頭ではどうすべきか分かっていても、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せないことが多くなることに対して、「気持ちに名前を付ける。」「強さに段階を付ける」「絵にして描いてみる」「ストレスの発散方法」など、感情を客観視してコントロールする練習をしていきます。					
	運動・感覚	・音楽療法、サーキット遊び、理学療法士が行う活動を通じて、「緊張」「弛緩」など身体のコントロールをする練習をします。また、体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできることで、気持ちや、テンションのコントロールできるように支援をしていきます。					
	認知・行動	・「座る」「大人をよく見る」「話を聞く」「嫌なことも頑張ってみる」等、課題に向かうための支援をします。「頑張ってたよ」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、情報を適切に処理できない、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を考えます。また、何もない、暇な時間が辛く感じることにに対して、待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えていきます。					
	言語 コミュニケーション	・「要求」「報告」「聴く」「模倣」「観察する」など、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジャスチャーやカード等、個々に合った方法を一緒に考えます。暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も、子どもにとっての何らかの問題に“対処している行動”と捉え、どんな問題に対処しようとしているのか、丁寧に観察しつつ、社会的にも適切な行動を考え工夫し支援します。					
	人間関係 社会性	・集団の中でソーシャルスキルの習得を目指します。「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、良い体験となるように設定を考えています。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。「友人」「上下」「協力」「対立」など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えていきます。					
家族支援		・事業所で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組めます。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。		移行支援		・具体的な移行を想定した発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。	
地域支援・地域連携		・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。		職員の質の向上		・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） ・発達に関する研修（外部研修・内部研修）	
主な行事等		・季節の制作、交通安全に関わる外出					